

1. 指導書本冊

LESSON 1

Meeting New People

- 自分のことを話す・相手のことをたずねる

1

● 本課の内容

p.19 対話文・学習 項目の提示	高校生が初対面のクラスメイトを部室へ案内する会話 文法：現在形・現在進行形 機能表現：あいづち 発音：/l/ と /r/ の発音
pp.20-21 文法	現在形・現在進行形 A 現在形（状態動詞） B 現在形（動作動詞） C 現在進行形（am/are/is -ing）
p.22 自己発信	トピック：自己紹介 Write 自己紹介の文を書く Share 自己紹介をする

● ねらい・指導上の留意点

会話表現	高校生が初対面のクラスメイトを部室へ案内する会話を学習する。それをもとに、自分や身近な人のことを、「どのような人物か」「ふだんは何をしているのか」に焦点をおいて話せるようにする。
文法	現在形・現在進行形のさまざまな用法を学習する。 [中学までの学習内容] A 現在形で現在の状態を表す 動詞については「一般動詞」「be 動詞」の区別しか学習しておらず、「状態動詞」と「動作動詞」の区別は学習していない。したがって進行形では使わない動詞があることは理解できていない。 B 現在形でいつもすることを表す like, have, eat, play, go などが中学1年で最初に学習する動詞である。「習慣的」という視点で学習していないので、その視点で見直させる必要がある。 C 現在進行形でしている最中のことを表す 進行形の知識形成は、①進行形の意味を理解すること、②-ing 形の作り方を理解すること、③適切な be 動詞を使うことの3段階だと言われている。学習直後はよいが、しばらくすると be 動詞を落とす生徒が見られる。
自己発信	「自己紹介」を扱う。Write では、自分の名前、出身中学、好きなものやしたいことなど自己紹介の文を書く。Share では、話す（スピーチ）の活動として、グループになって1人ずつ自己紹介を行う。

LESSON 1

Meeting New People

自分のことを話す・相手のことをたずねる

Start-Up Alexが国際交流部の活動場所である視聴覚室に向かおうとしています。

Tips：英語で会話をするときは、相手の名前を口に出して言うことが大切です。また、にっこり笑ってゆっくり、はっきり話すと、初対面の人もスムーズなやりとりができるでしょう。

Forms 現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す

Expressions 相手の話の内容に合わせて、“Sure.”などのあいづちを打つことで会話を続ける
●会話中に出てくる「あいづち」表現を探してみよう！

Sounds /l/と/r/の発音
●/l/…舌の先を上唇の奥で軽く押しつけて「ル」と発音する。
Alex, glad, let's, class
●/r/…口を大きく「ウ」の形にして舌の先をどこにもつけずに「ル」と発音する。
right, room, everyone, really

Talk
● Alex と Haruka になりきって会話をしてみよう！

Alex Lee 先生に勧められて国際交流部に入った。楽しい部活だといいな。

19

各ページの指導上のねらい

Start-Up

CD1.07～09

- 初対面の高校生同士が、出会いのあいさつを交わし、部活動へと向かう対話を讀んだり聞いたりして、理解する。
- 初対面時に用いられる会話表現、相手を歓迎する表現やあいづちの表現をしっかり身につけたい。

1. Excuse me. 「すみません」

解説 初対面かどうかにかかわらず、人に話しかけるときに用いられる表現。学生にとって、会話表現でイメージがつかみにくいことのひとつが「その表現がどの程度でいねいか、またはカジュアルか」ということである。Excuse me. は、ていねいな表現の中ではもっともカジュアルなグループで、若者も使う。

2. You're Alex, right? 「あなたはアレックスね？」

解説 疑問文で同じ内容を聞く場合、“Are you Alex?”となるが、同じ学年とはいえ“Are you …?”で名前をたずねるのは直接的でやや失礼に聞こえることがある。確認をとる意味でも、肯定文“You're Alex”のあとに“ , right?”と付け加える表現がちょうどよい。また、学生にとっても、会話練習の中で相手の言った内容を確認したい際に、肯定文に“ , right?”と付け加える方法はやりやす

いと思われるので、自然に使えるようにしたい。

3. That's right. 「その通り」

解説 短い会話の中で、Yesを表したり、肯定的なあいづちを打ったりする表現は、外部試験などでの面接にも役立つので、学生に多くストックさせたい。直前の相手の発言内容を受けて“ That's … ”で反応するのは、“ It's … ”と間違う学生も多いので、しっかり定着させたい。

3. It's nice to meet you, Haruka. 「会えてうれしいよ、ハルカ」

解説 Itが形式主語、to meet youが真主語の不定詞構文だが、定型文として覚えるのがよい。本教科書の前半ではおもに日常的な状況において身近な人で行う対話を取り上げている。そのような対話では、話しかけたり、確認したりする際に相手の名前を意識的に呼ぶことで心理的な距離を縮められるので、教室での対話練習でもペアになった相手の名前を呼ぶよう指導してもよい。

4. Glad to meet you, too. 「こちらこそ（会えてうれしいわ）」

会話における注意点を解説

解説 対話に限らず、英語でのコミュニケーションの特徴のひとつが「言い換え」である。“ It's nice to meet you.”と言われたときに“ It's nice to meet you, too.”と返すのは間違いではないが、“ Glad to meet you, too.”などのように言い換えるとより英語らしい自然な表現になる。

5. Everyone is waiting for you there. 「みんなそこであなたを待ってるわ」

解説 語いとしては、「みんな」を意味するeveryoneは単数扱いであること、every oneと2語で書く誤りが多いが1語でeveryoneと書くことをしっかり確認したい。また、〈wait for+人〉もforを抜かさないよう学生の知識を確認しておくことよい。現在進行形の文をつくるにあたり、学生が正しく-ing形をつくれるかどうかも見極めが大切である。

6. Oh, really? 「本当？」

解説 “Really?”は非常によく使うあいづち表現であるとともに、発音のしかたによってニュアンスにバリエーションがあり、また/r/, /l/の発音練習にもなるため、生徒にしっかり発話練習をさせた。ここでは、疑問のニュアンスは少なく、発話者の驚きを示している。

Interactions 自分や身近な人のことを伝える

A 「(今)～だ」と伝える 現在形(状態動詞)

① I like cats very much.
② My brother has two bikes.

E-Guide

①好きなものや好きなもの、知っていることや思っていることなど、現在の心理や態度を表すときは動詞の現在形を使う。
②持っているものや住んでいる場所のような現在の状態を表すときは、動詞の現在形を使う。

Task 1

考えられた語句を参考に、自分のことについて1つ、ほかの人のことについて1つ、英文を書いてみよう。どちらか1つは英文文にしよう。
(例) I have a little brother. He is five years old.
I don't like summer. It's too hot.

動詞 be / like / want / have / live in
人・もの・こと brother / sister / summer / winter / movies / baseball / a smartphone / the tennis club

状態を表す動詞
like / love / have / want / hope / know / think / live / remember / believe / understand など

B 「(いつも)～する」と伝える 現在形(動作動詞)

③ My mother drives to work every day.
④ My cat usually sleeps on the sofa.

E-Guide

③習慣になっていることや繰り返し起こることを表すときは、動詞の現在形を使う。
④どのくらいの頻度なのかを表すときは、always「いつも」、usually「ほとんど(日)」、sometimes「ときどき」、never「決して～ない」の前に入れる。

always > usually > often > sometimes > never
「いつも」 「ほとんど(日)」 「よく」 「ときどき」 「決して～ない」

Vocabulary

like	～を好きになる	like + (years) old	～歳	video game	テレビゲーム
resemble	～に似ている	too	～すぎる	drink	飲～を飲む
hope	～を願う、望む	smartphone	スマートフォンの	coffee	洗 コーヒー
understand	～を理解する	tennis club	テニス部	get up	起床する

20

大きな点は「動作動詞は進行形を作るが、状態動詞は進行形を通常作らない」ことである。

□ 動詞の現在形の活用では、まず三人称単数現在の -s / -es のつけ方を確認したい。不慣れな学生も少なくないので、ていねいに指導していきたい。

文法の指導ポイントをコンパクトに紹介 (形(状態動詞))

状態動詞の現在形を使って、「現在の状態を表すこと」を学習する。状態動詞は現在形のみで「今、その状態が続いている」ことが伝わるので、通常、進行形にはならないことに注意させたい。

1 心理的な状態を表す状態動詞

(解説) like 「好きである」は心理的な状態を表す状態動詞。瞬間的なことではなく、過去から未来に広がりがあがる心理的な状態であることを理解させる。「今、(瞬間的に)～している」という現在進行形にしないように注意させる。〈瞬間〉とは「動画再生中に一時停止をするイメージ」で、run や sleep などの動作動詞は動画を一時停止しても「何をしているか意味が伝わる」が、like などの状態動詞は動画を一時停止した静止画では動詞の意味が伝わらない。同類の動詞に love, want, hope, know, think, understand などがある。

2 一般的な状態を表す状態動詞

(解説) has 「持っている」は心理的な状態ではない、一般的な状態を表す動詞。①同様、「～している」という日本語につられて現在進行形と考えてしまうため注意させる。ただし、have は「食べる」という意味では動作動詞となり、進行形になる。「動作」が感じられるかどうかには注目させる必要がある。同類の動詞に live, resemble, belong などがある。

Task 1 状態動詞を使って、自分や身近な人について説明する

(解説) be, like, want, have, live in を使って、任意の文をつくる活動。本教科書では Task に参考語いがある場合、指示文を「与えられた語句を参考に」としており、参考語いを使わず、自分の言葉で文をつくることを許容している。参考語いはあくまで、ゼロから自分のことばで文をつくるのが難しい学生のためのものである。

You and the People around You

Task 1

ペアになって、下のイラストから1つ選び、自分がいつもすることなる「...」しないことなる「I don't...」と書き出したパートナーに伝えよう。パートナーはE-Guideを参考に、あいづちを打って反応しよう。
(例) A: I play video games every day.
B: Really? Me, too.

E-Guide あいづち

□ Sure. 「もちろん、そうだよ」
□ I see. 「なるほど」
□ That's nice/good/great. 「それはいいね」
□ Really? 「そのとおり、本当に?」
□ Me, too. 「私も、それね」
□ That's too bad. 「それは残念だね、気の毒だね」

C 「(今)～している最中だ」と伝える 現在形(動作動詞)

⑤ I'm waiting for the school bus.
⑥ My cat is getting fat these days.

E-Guide

⑤「今、～している最中だ」という、行われている最中の動作を表すときは、現在進行形(Continuous / ing 形)を使う。⑥のような状態を表す場合は進行形にしない。
⑥変化している最中のことを表すときは、現在進行形を使う。

Task 2

ペアになって、イラストの人物が何をしているのか話してみよう。
(例) A: What is Tim doing?
B: He is drinking water.

SELF-CHECK / 到達度を自己評価してみよう

□ 自分や身近な人・もの現在の状態を伝えることができる。(現在形) 状態動詞
□ 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形) 動作動詞
□ 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形) Continuous
□ 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

21

Interactions CD1.10~21

□ 動詞の時制の中でも、基本となる現在形の用法について学習する。

□ 動詞は、状態を表す「状態動詞」と、動作を表す「動作動詞」に大別される。両者の相違の中で最も

評価のポイント

- i) は必須、i) と ii) ができていればおおむねOKとする。
- i) 主語に合わせて動詞が適切な形になっている。

- (be 動詞, 三人称単数現在) 否定文も同様。
- ii) 意味の通る文をつくられている。たとえば, “I’m in the tennis club.” は意味が通るが, “I like the tennis club.” は不自然である, など。
 - iii) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。兄弟姉妹が1人の場合, a brother, a sister と冠詞をつけている。または I like のあとでは summer, movies, baseball などには the をつけない。普通名詞の場合は movies のように複数形にする。

Task の評価のポイントを掲載

B 「(いつも)~する」と伝える

現在形(動作動詞)

動作動詞の現在形で習慣的動作を表す用法を学習する。頻度を表す副詞 **always, usually, sometimes, never** の基本的な位置を説明する際は, **be** 動詞と一般動詞を正しく区別できているかも確認する。

3 習慣的な動作を表す動作動詞

解説 動作動詞を使って, 1回きりではなく習慣的に行っている動作を表す用法である。drives は「(習慣的に) 車で走っている」という意味になる点に留意させる。また, 〈移動を表す自動詞+to work〉における無冠詞の work は「仕事場」= workplace を意味する名詞。to work で不定詞と誤解している学生もいるので, 確認する必要がある。

4 頻度を表す副詞

解説 習慣的な動作はくり返し行っていることなので, 頻度を表す副詞を伴うことが多い (always, usually, often, sometimes, rarely, never など)。now, today, this weekend のように, 通常文末に用いる, 〈時〉を表す副詞(句)と混同しないよう, 頻度を表す副詞はすべて覚えさせたい。

Task 2 動作動詞を使って, 自分の習慣的な動作について説明する

解説 テレビゲームをするか, コーヒーを飲むか, 何時に起きるかについて, 自分に関する文をつくる活動。学生が発信しやすい場づくりをして, 「平日はたいてい6時に起きるが, 週末は8時に起きる」のように自由に情報を追加させたい。

評価のポイント

- i) は必須, i) と ii) ができていればおおむねOKとする。
- i) “I drink coffee. / I don’t drink coffee.” “I get up ... / I don’t get up ...” と正しく言えている。

- ii) 頻度を表す副詞は一般動詞の前に, every day などの副詞(句)は文末にある。
- iii) 話の内容に合わせて, 適切なあいづち表現を使う。たとえば, “I don’t drink coffee. I don’t like it.” に “That’s nice.” とあいづちを打つのは不自然。この場合は “Really?” や “I see.” を選ぶ。

C 「(今)~している最中だ」と伝える

現在進行形(am/are/is -ing)

今この瞬間を表したり, 通常とは異なる一時的な状態を表したりする現在進行形を学習する。

5 今現在していること

解説 何かをしている最中であることを, 現在進行形〈am/are/is -ing〉で表す。現在分詞 -ing は「何かをしている途中」を表す。ここで再度, 状態動詞と動作動詞の区別の仕方を確認し, 状態動詞は進行形にならないことを強調しておく。

6 最近していること

解説 現在進行形は「最近は」や「今年は」のような, ある限られた期間にしていることを表すことができる。⑤今現在していることとの共通点は, 前後に連続する時間軸の中からある特定の時を切り抜いている点。⑤は今まさにこの瞬間を, ⑥はここ最近を, 取り上げて説明している。

Task 3 現在進行形を使って, イラストの人物について説明する

解説 イラストの人物が何をしているかをペアで話す活動。イラストの人物は1人の場合と2人の場合があるので, be 動詞の形に注意させたい。

評価のポイント

- i) は必須, i) と ii) ができていればおおむねOKとする。
- i) 主語に合わせて be 動詞が適切な形になっている。
- ii) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。(1) は play the guitar, (5) は play basketball のように, 冠詞が正しくつけられている。
- iii) イラストの内容をよりくわしく説明できている。(2) はキャンパスを使用しているので, paint a picture が正確だが, draw a picture も許容し, paint と draw の違いを説明する。(3) は He is swimming. でもよいが, He is swimming in the pool. まで説明できるとなおよい, など。

active learning 自己紹介

Write 自己紹介の文を書く
次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pops. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

Hints for Logical Writing
自己紹介では名前やニックネーム、出身校などの自分についての(大まかな情報)、次に興味のあることや将来の計画など自分をよく知ってもらいたい(より個人的な情報)という順で書くと、伝わりやすくなります。

Share 自己紹介をする
グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

- あいさつ Hi, everyone.
- 大まかな情報 名前や(あれば)ニックネーム
My name is Sato Hinata. Please call me Hina.
出身校、住んでいる場所など
I went to Sakura Junior High School.
I live in Nanairo City.
- より個人的な情報 好きなもの、ことなど
I like tennis very much.
- あいさつ Nice to meet you.

Plus 住んでいる場所についてと言プラス。(I live in Kagawa. It's famous for adom.)
好きなもの・ことについてと言プラス。(I want to join the school tennis club.)
+家族やペット、趣味についてと言。(I have a white cat, and her name is Momo.)

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう ①-○、②-○、③-△

●自分のことを説明する英文を書くことができた。 ① ② ③
●示された順番に自己紹介を書くことができた。 ① ② ③
●グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。 ① ② ③

22

について説明する文をどんどん書かせて、それを〈重要〉→〈重要でないこと〉、〈大まかな情報〉→〈詳しい情報〉の順に並べて整理させるとよい。また、出身中学校、住んでいる場所、家族構成などの〈公的な事実〉と、好きなアイドルや漫画などの〈私的な嗜好〉に分けて考えさせるとアイデアが出しやすい。

評価のポイント

- i) は必須、i) ~ iii) ができていればおおむね OK とする。
- ii) “My name is + 名前.”, “I’m + 名前.”, “Nice to meet you.” の文が正しく書けている。
- iii) 主語に合わせて動詞が適切な形になっている。(be 動詞, 三人称単数現在) 否定文も同様。
- iv) 5文以上書けている。
- v) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。兄弟姉妹が1人の場合、a brother, a sister と冠詞をつけている。または I like のあとでは目的語に the をつけない。同様に、普通名詞の場合は movies のように複数形にする。

Active Learning CD1.23~24

□ 現在形を使い、英語で自己紹介ができるようになることが目標である。同時に、Interactions で学習した基本的な文の形のバリエーションを学び、アウトプットに生かせるようにする。

□ 初対面に用いられる表現や、話し始めのあいさつなどを適切に使えるようにする。

Write 自己紹介の文を書く

現在形を使って、「自分はだれ」で、「ふだんどのようなことをする」人物であるかを自分のことばで説明する。名前などの重要な情報から先に、また、大まかな情報のあとにより詳しい情報を書いていくなど、情報の整理を意識して書かせる。

和訳 みなさん、こんにちは。私の名前は山田さくらです。私はナカハタ中学校に通っていました。私は K ポップが好きです。お気に入りの歌手は JJ です。私はいつか韓国を訪れたいと思っています。よろしくお祈りします。

解説 いきなり5文以上でパラグラフを書くとなると手が止まってしまう学生もいるので、まずは自分

発展 ピアレビュー

ペアになって、自己紹介の原稿を交換し、読んで1文(以上)のコメントを記入して返却させる。5文、40語程度なので時間は2~3分で区切り、素早く読んで素早くコメントを書かせる訓練とする。最初の段階では、コメントは“Interesting!”や“Great!”など1語でもよい。即時的なコミュニケーションのよい訓練になるので、可能であれば、Write のピアレビューは習慣化したい。

発展的な活動を提示

Share 自己紹介をする

グループになって、1人ずつ自己紹介を行う。Write で作成した原稿を読み上げるだけにならないよう、グループのメンバーとアイコンタクトをとることを意識させたい。

和訳 みなさん、こんにちは。私の名前は佐藤ひなたです。私をヒナと呼んでください。私はサクラ中学校に通っていました。私はナナイロ市に住んでいます。私はテニス大好きです。よろしくお祈りします。

解説 Write から Share へと活動を展開させる際、

Write で作成した自己紹介の原稿を Share で読ませるのではなく、Write の原稿を作成するために書き出した、自分について説明する文をもとに、何も見ずにアドリブで自己紹介をするイメージで挑戦させるとよい。

評価のポイント

- i) は必須, i) ~ iii) ができていればおおむね OK とする。
- i) 【表現】“Hi, everyone.”, “Hello.”, “Nice to meet you.” など、呼びかける表現を言う際、語尾下がりではなく、顔を上げてグループのメンバーに伝えるトーンで言うことができる。
- ii) 【発音】各語の発音とアクセントがおおよそ正しく発話できている。また、文の中で最も重要な情報（SVC の C にあたる名前や属性、SVO の O にあたる好きなものやふだんすることなど）がはっきり聞き取りやすく伝えられている。
- iii) 【流暢さ】5 文で20~30秒程度、2 回以上つまらずに話すことができる。
- iv) 【内容】クラスメイトであるグループのメンバーに、自分のことをわかりやすく、魅力的に伝えることができる。相手が自分に興味をもちそうな情報を伝えることができる。

発展1 質疑応答

自己紹介のあと、グループのメンバーから1つずつ自己紹介の内容に関する質問をさせ、それに答えるよう指導する。質問は単純なものでよい。

例1 I have a dog. His name is Leo.

—What kind of dog is Leo?

—What color is Leo?

例2 I like soccer. I'm a member of the soccer team.

—What position do you play in the team?

—What is your favorite soccer team?

また、質問に対する返事は、“Chihuahua.”や“Black.”のように1語でもよいが、“He is a chihuahua.”と1文で答えられた場合は加点したい。

発展2 ピアレビュー

自己紹介を聞いたあと、〈Delivery | 表現・態度〉、〈Pronunciation | 発音〉、〈Fluency | 流暢さ〉、〈Contents | 内容〉の4つの観点で評価させる。「ふつう」を避けるために4点評価でもよいが、ここでは Excellent, Good, Average の3段階評価とする。

How were the other members' speeches?

■ Delivery 「表現・態度」

…聞き手とアイコンタクトがとれていたか。あいさつは聞き手に話しかけるように言っていたか。

■ Pronunciation 「発音」

…/l/ と /r/ の発音をはじめ、英語らしい発音とアクセントで発話できていたか。また、文の中で特に重要な情報ははっきり聞き取りやすく伝えられていたか。

■ Fluency 「流暢さ」

…2 回以上つまらずに話すことができたか。

■ Contents 「内容」

…聞き手が、話し手のことをもっと知りたいと思うような興味深い自己紹介だったか。

3: Excellent 2: Good 1: Average

Your name: _____

• _____'s speech	
Delivery	3 · 2 · 1
Pronunciation	3 · 2 · 1
Fluency	3 · 2 · 1
Contents	3 · 2 · 1

• _____'s speech	
Delivery	3 · 2 · 1
Pronunciation	3 · 2 · 1
Fluency	3 · 2 · 1
Contents	3 · 2 · 1

• _____'s speech	
Delivery	3 · 2 · 1
Pronunciation	3 · 2 · 1
Fluency	3 · 2 · 1
Contents	3 · 2 · 1

Greetings

- Hello, everybody.
- Good morning/afternoon, everyone.
- Good morning/afternoon, class.
- Hello there, Alex.
- How are you this morning/afternoon, Zoey?
- Haruka, how are you today?

Beginning

- Let's begin.
- Let's begin today's lesson.
- Is everybody ready to begin?
- It's time to begin.
- Are you ready?
- Everybody, now
- Pay attention.
- Stop talking and be quiet.
- Open your textbook to page
- Turn to page
- Look at page

Instructions

- Listen carefully.
- Listen to me.
- Listen to the tape/CD/conversation.
- Repeat after me.
- Repeat after the tape/CD/conversation.
- Listen and repeat.
- Again, please.
- Put your hands up/down.
- Raise your hand.
- Don't be shy./No need to be shy.

Pair/Group Work

- Make pairs/groups (of four).
- Find a partner.
- Work with the person next to you.
- Share your ideas with the group/class.

Time keeping

- You have ten minutes to do this.
- Hurry up!
- Take your time.
- There are two minutes left.
- You have three more minutes.
- You have only one minute left.
- Time's up.

Examination

- Close your books.
- Put things/everything away.

- (配布して) Take one and pass them back.
- Does everybody have one?
- Make sure that you have one question sheet and one answer sheet.
- (Don't forget to) write your name.
- Do not open the booklet/question sheet until you are told to do so.
- Now, start the test.
- You have five minutes left.
- Time's up. Put your pencils down.
- Pencils down. – Stop writing.
- Pass your answer sheets to the front.

Comprehension

- Did you get it?
- Are you with me?
- Do you understand everything so far?
- Do you have any questions?
- Does anyone have any questions?
- Any questions?

Making sure

- What did you say?
- One more time, please. – Once more, please.
- Say it again, please.
- Please say it again in a loud voice.

Feedback and encouragement

- Excellent!/Fantastic!/Marvelous!
- (That's) great!/Well done.
- You did a great job.
- (活動中に) You're doing a great job!
- Keep it up!
- Keep up the good work!
- I'm very impressed.
- Don't worry (about it).
- (失敗に対して) Good try!
- I'm sure you'll do better next time.
- You're making progress.
- Don't be afraid to make mistakes.
- Go ahead! Have another try!
- You're almost there./Almost!
- You're very close, but that's not quite right.

Closing

- It's time to finish now.
- I'm afraid we've run out of time.
- That's all for today.
- We'll continue/finish this chapter next week.
- We'll do the rest of this chapter next time.